

## 【第69回北部防衛衛生学会・自衛隊札幌病院】

令和8年1月21日（水）、北海道青少年会館コンパスにおいて、自衛隊札幌病院長（菊池陸将）が学会長となり、『衛生の挑戦～北部方面隊の強靱と信頼のために』をテーマに第69回北部防衛衛生学会を実施した。本学会には、自衛隊中央病院長、大臣官房衛生監をはじめ多くのご来賓のご臨席を賜り、北部方面総監には「沖縄と陸上自衛隊」という演題で地域の住民から陸上自衛隊に対する理解を獲得するために歩んできた足跡をご講話いただいた。

特別講演では、赤十字国際委員会（ICRC）整形外科医長の安藤先生より「近代戦における負傷者対応」という演題で中東パレスチナのガザ地区における医療活動の経験と教訓についてご講演いただき、有事における隊員の生命・身体を確実に救うための「衛生機能の変革」を進める中で、身体的・精神的に過酷な環境において必要なアセスメントやトリアージ等について病院及び各部隊等の隊員が認識を共有することができた。また、教育講演では、北海道大学大学院公衆衛生学教授の玉腰先生より「生活習慣と健康」という演題で平素から隊員の壮健性を保持するために必要な健康管理に大きく係るコホート研究の結果などを紹介していただき、衛生科隊員として必要な知識を高めることができた。さらに、一般演題では、方面衛生隊、師団・旅団衛生隊、衛生小隊及び業務隊衛生科の隊員が、それぞれの立場で衛生の役割を果たすため実施してきた訓練等の成果を発表し、その中で第11後方支援隊衛生隊の「野外行動時における衛生情報共有」、方面衛生隊の「札幌医科大学病院への患者航空後送訓練の成果と今後の課題について」が優秀演題に選ばれた。学会の最後にパネルディスカッションを実施して「戦（外）傷治療能力向上のための教育・人材育成について」を議題に多様な視点で議論が交わされ、北部方面隊の教育・訓練態勢の更なる強化につながる共通認識を得ることができた。

本学会を通して、北方衛生の隊員は、何があっても必ず仲間を助けるという強い気概を堅持し、現場で直面する課題と真摯に向き合い、「衛生の挑戦」を継続することで実効性をさらに高めて、方面隊の強靱性向上に寄与し、自衛隊に対する確固たる信頼の醸成を図っていく。

第69回 北部防衛衛生学会



開会の挨拶（菊池病院長）



総監講話（井土川陸将）



特別講演（赤十字国際委員会 安藤先生）



教育講演（北海道大学 玉腰教授）



パネルディスカッション



優秀演題（表彰）



優秀演題（11後支衛生隊）



優秀演題（北部方面衛生隊）